平成１９年度試験研究体系図

自然環境保全センター研究部

ページ

丹沢大山の自然環境の保全と再生に関する研究部門

○丹沢ブナ林等の衰退原因解明と再生技術の研究開発（重）
①ブナ林立地環境モニタリング調査（H18～　） ---------- 209
新②ブナ帯森林再生のための実証的研究（H19～ ---------- 218
新①ブナハバチの密度推定技術の開発（H19） ---------- 215
○ニホンジカと共存できる森林管理技術の研究開発（重）
新　ニホンジカの効果的な管理技術の開発（H19～21）△
○希少動植物の保全技術の研究開発
③丹沢山地に自生する希少植物の保全手法の開発（H16～19）★ ------- 219
○自然環境の統合的な管理技術の研究開発
新④丹沢山地の自然環境の統合的管理に関する研究（H19～20） -------- 220
新①流域を対象にした土壌保全マニュアルの作成（H19） ---------- 212
新⑤ヤマビルの防除技術の開発に関する共同研究（H19～20）★ --------- 221
新　外来植物の管理と在来種による緑化技術の開発（H19～21）△

豊かで活力ある公益的機能の高い森林の整備に関する研究部門

○森林の水源かん養機能保全に関する研究開発（重）
新⑥森林の水源かん養機能評価と情報提供に関する技術の開発（H19～）★ 222
新⑦市民参加の森林調査支援システムの開発（H19） ---------- 223
⑧水源林の保全と再生技術の開発に関する研究（H14～） ---------- 224
新⑨渓畔林の再生技術の開発（H19～22）★ ---------- 225
⑩大洞沢の水文観測調査（H7～） ---------- 226
新①森林土壌の流出モニタリング調査（H19～） ---------- 212
森林病害虫の防除に関する研究支援（通年）△
○公益的機能を活かす森林活用の研究開発
⑪森林吸収源計測・活用体制効果検証事業（H18～22） ---------- 228
里山林等の保全と再生技術に関する研究支援（通年）△
多様な森林空間の利用に関する支援（通年）△

持続可能な資源の利用と管理に関する研究部門

○地域遺伝資源の保存と活用に関する技術の研究開発（重）
⑫特定林木育種事業（S32～） ---------- 229
水源広葉樹苗木育成事業（H16～20）
②丹沢ブナ林広葉樹種苗の生産技術の開発（H18～） ---------- 218
新⑬希少動植物の保護増殖に関する研究（H19～23）★ ---------- 230
⑭スギ花粉発生源調査事業（H18～20） ---------- 231
⑮スギ・ヒノキ林の花粉削減に関する研究（H17～21） ---------- 233
⑯スギ雄花形成の機構解明と抑制技術の開発（H18～20）★ ---------- 234
⑰花粉のないスギ・ヒノキ実用化プロジェクト研究（H17～19）★ ------- 235
○森林資源の利用技術の研究開発
⑱スギ・ヒノキ穿孔性害虫被害材の材質劣化研究（H18～19）★ --------- 236
⑲中山間地域を活性化する特用林産物の生産技術の開発（H18～22）★ --- 237
⑳森林微生物の保全と利用技術の開発（H16～20） ---------- 238
多様な木質資源の利用に関する研究支援（通年）△

※（重）：プロジェクト型の重点課題研究　　△：経常研究として実施
新　：新規試験研究課題　　★　：要研究問題対応課題